２０１６年（平成２８年）７月２０日　水曜日

東奥日報新聞　１１面　掲載

第98回全国高校野球選手権青森大会は第10日の19日、青森市営球場で準決勝2試合を行い、八戸学院光星が3年連続、大湊が7年ぶりの決勝進出を決めた。八学光星は八戸西相手に序盤から主導権を握り、終盤も好投手・竹本に集中打を浴びせ、9－3で下した。

第98回 全国高校野球 青森大会

第10日

大湊は二回途中から救援した高塚が力投。六、七回の好機を着実にものにし、強豪聖愛に8－4で逆転勝ちした。20日は休養日で試合がなく、大会最終日の21日は同球場で、八学光星が8回目、大湊が初の頂点を懸けて激突する。

（本紙取材班）

あす決勝

2年ぶり夏の王者へ　下北初の甲子園懸け

光星 × 大湊

【八学光星－八戸西】7回表、八学光星1死二塁、小淵が中前適時打を放ち、7－3とリードを広げる。投手・竹本

光星 終盤突き放す

八西、反撃3点止まり

▽準決勝（青森市営）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
八学光星	0	0	1	2	0	3	1	0	0	7
八戸西	0	0	0	3	0	0	0	0	3	9

（光）和田－奥村

（西）荒川、高橋、竹本－平野

▽二塁打　伊勝、苗田2、小林（光）菊地（西）

▽暴投　和田（光）▽捕逸　平野（西）▽ボーク　荒川（西）

▽審判　関（球）西村（1B）大森（2B）菊地（3B）

【評】八学光星が2点差まで追い上げられたものの、終盤に突き放し試合を決めた。七回1死二塁から小淵、奥村の適時打で3得点。八回には1死一塁から益田が右中間を破る適時二塁打を放ち、駄目押しした。

先発全員の毎回16安打と打線がつながり、6犠打と堅守のなさも光った。

先発和田は五回こそ失策絡みで3点を失ったが、その後は変化球を低めに集め、完投した。

八戸西は五回、菊地の2点適時打やスクイズで3点を奪い反撃に出たが、六回以降は無得点。救援した主戦竹本を援護できず、力尽きた。

光星打線 闘志に火

「主戦引きずり出せ」

ハイライト

八学光星が予想していた八戸西の先発は主戦竹本。だが、マウンドにその姿はなかった。「早く、竹本を引きずり出そう」。闘志に火が付いた選手たちは八戸西投手陣の3人の継投を打ち崩し、最後は竹本を7安打4得点と攻略し快勝した。

準備は万端だった」とさまざまなタイプの投手がそろっても、対応できる練習をしてきた」。仲井監督）通り、手たちは、好球必打」とボールの見極めを徹底。五回までに5点を挙げ、試合の流れをぐっと引き寄せた。

3点を奪われ、迎えた八回、3番手でようやく、ここまで3試合16回を投げ無失点と好投してきた竹本がマウンドに立つ。

八回には慢心してきた主砲益田がダメを押す9点目をたたき出し、仲井監督は「打つべき人が打ける。」（本田海輝）

スライダーを体勢を崩しながらさばいて右翼線に、さらに小淵、奥村も中前に運んで3点を奪い突き放した。

八回には慢心してきた主砲益田がダメを押す9点目をたたき出し、仲井監督は「打つべき人が打ち、しっかりと攻撃できた」と、してやったりの表情だった。

三沢商に延長サヨナラ負けで涙をのんだあの夏の決勝から1年。雪辱を期して、投打とも一から磨き上げてきた、甲子園の切符まで、残すはあと1勝だ。「しっかりと準備し、決勝も絶対打つ」と益田。21日の決勝で、これまでの集大成をぶつ

【八学光星】	打	安	点	球
伊勝（中）	3	1	0	1
苗田（遊）	3	1	0	1
益田（三）	3	1	1	0
小淵（左）	3	1	1	0
小林（光）（捕）	3	1	0	0
奥村（一）	3	1	1	0
和田（投）	3	0	0	1
菊地（右）	3	1	0	0
佐藤（左）	1	0	0	0
竹本（投）	1	0	0	0
計	31	7	3	3

【八戸西】	打	安	点	球
中村（遊）	3	0	0	0
平野（捕）	3	0	0	0
佐藤（左）	3	1	0	0
荒川（投）	3	0	0	0
高橋（投）	0	0	0	0
竹本（投）	0	0	0	0
関（一）	3	0	0	0
西村（三）	3	1	0	0
大野（中）	3	1	0	0
藤川（右）	3	1	0	0
櫻本（二）	3	1	0	0
計	30	5	0	0

【八学光星】出塁数＝伊勝3、苗田3、益田3、小淵3、小林3、奥村3、和田3、菊地3、佐藤1、竹本1、計31

【八戸西】出塁数＝中村1、平野1、佐藤1、荒川1、大野1、藤川1、櫻本1、関1、西村1、高橋1、竹本1、計10

【犠打】和田（光）

【併殺】小淵、奥村

【失策】和田（光）、荒川

【残塁】八学光星6、八戸西4

【暴投】和田（光）

【捕逸】平野（西）

【ボーク】荒川（西）

【二塁打】伊勝、苗田2、小林（光）、菊地（西）

【審判】関（球）、西村（1B）、大森（2B）、菊地（3B）

【試合時間】2時間29分

【観客】3,625人

【八学光星】	投	打	安	点	自	球
和田	6	23	5	3	3	117
竹本	3	12	2	0	0	50
計	9	35	7	3	3	167

【八戸西】	投	打	安	点	自	球
荒川	5	16	5	3	2	96
高橋	1	3	0	0	0	21
竹本	3	9	2	0	0	50
計	9	28	7	3	2	167

【犠打】伊勝（光）、苗田（光）、佐藤（西）

【失策】和田（光）、荒川（西）

【暴投】和田（光）

【捕逸】平野（西）

【ボーク】荒川（西）

【二塁打】伊勝、苗田2、小林（光）、菊地（西）

【審判】関（球）、西村（1B）、大森（2B）、菊地（3B）

【試合時間】2時間29分

【観客】3,625人

和田、相手打線を翻弄

○…八学光星の背番号10・和田が117球を投げ、完投勝利を飾った。

春のセンバツの覇合天平安（京都）戦でも登板し、大舞台も経験済み。「直球のスピードが3、4キロ上がった」と手応え長打を浴びないように気を付けた」と試合後は気持ちよさそうに汗を拭った。

低めに変化球を集め八戸西打線を翻弄（ほんろう）、五回以外を無失点に抑えた。「3、4番に長打を浴びないように気を付けた」と試合後は気持ちよさそうに汗を拭った。

「平安（京都）戦でも登板し、大舞台も経験済み。「直球のスピードが3、4キロ上がった」と手応え長打を浴びないように気を付けた」と試合後は気持ちよさそうに汗を拭った。

「絶対抑えてみせる」と頼もしかった。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです